

児童発達支援事業

入園のしおり

令和6年度版



富里市簡易マザーズホーム すまいる

療育目標

—子どもたちの豊かで確かな成長を目指して—

- 生き生きと遊べる子どもになろう。
- 丈夫な身体とのびのび動く身体を作ろう。
- 豊かな心で感情を伝えられる子どもになろう。
- 生活のリズムと基本的な生活習慣を身につけよう。
- 子どもとしっかり関わり、受容できる保護者になろう。

対象児 0歳～未就学児童

通園日 原則として
月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

職員構成

職種	所長（管理者） 児童発達支援管理責任者	保育士	言語聴覚士	看護職員
人員	1	4	1	1

☆利用料 ・0～2歳児のお子さんの利用については、障害児通所給付費の1割をご負担いただきます。
・3歳以上児のお子さんは、2019年10月より幼児教育無償化の対象となりましたので、負担額は0円です。

☆入園に際し必要なもの

- 軍手1組
(くじらクラス：お子さん用・ペンギんクラス：大人用をご用意ください。)
- 着替え袋
(脱いだ洋服を入れる際に使用します。手提げ等フックにかけられる物をご用意ください。)

☆日々の通園で必要なもの

お弁当(ペンギんクラスのみ)保護者とお子さんの分をそれぞれをご用意ください。
保護者の献立もお子さんと同じ物をご持参ください。

おやつ(くじらクラスのみ)
水筒+コップ：水筒に入れる物・・・水・白湯・お茶類(練習として牛乳を持参しても結構です。)
歯磨きセット(コップ・歯ブラシ)：毎日持ち帰り
着替え・オムツ・手拭きタオル等

児童発達支援事業

発達の気になるお子さんが保護者と通園し、療育を受けます。

- 1 グループ活動 保護者もお子さんと一緒に活動します。
- 目的 (1) 生活のリズムと基本的な生活習慣を身につける。
 (2) 様々な課題活動に取り組み、できる事を増やす。
 (3) 対人関係を築き、集団で必要なルールを身につける。
- 療育日 (1) くじらクラス (4～5歳児)
 1組 月・水曜日 13:10～15:40
 2組 火・水曜日 13:10～15:40
 (2) ペんぎんクラス (0～5歳児)
 木・金曜日 10:00～14:10

課題活動

運動遊び	感覚刺激 感覚統合運動 粗大運動 手指機能を高める運動	ボールプール・水遊び等 タオルブランコ・サーキット等 サーキット・戸外遊び・体育遊び等 ボール遊び・新聞紙遊び等
音楽遊び		手遊び・歌遊び・楽器遊び・リトミック等 音遊び等
制作遊び	感触刺激 制作的活動	小麦粉粘土・ボディペインティング等 作ってみよう・制作・お絵描き等
社会性・ 言語を育 てる遊び		絵本・紙芝居・買い物ごっこ等 園外指導・散歩・くすぐり遊び・やりとり遊び等

※ できる事を増やし、また確実な力に繋げるために同じ課題を繰り返し実施していきます。同じ課題でも回数を重ねることでお子さんが活動に取り組む姿勢や達成感、結果が異なってきます。

※ 帰りの会での読み聞かせに用いる絵本や紙芝居等は、1か月を通して同じ物を使用しています。これは、セリフや登場人物の動きを覚え『知っているよ』という自信に繋がることを目的としています。

- 2 個別支援 担当職員と一緒に、個々に応じた課題に取り組めます。
 月1回、40分：希望制

(1) くじらクラス

くじら1組：月・水曜日 ①13:00～ ②13:50～ (月曜日のみ)
 くじら2組：火・水曜日 ①13:00～ ②13:50～ (火曜日のみ)

(2) ペんぎんクラス

木・金曜日 ① 9:20～

3 言語聴覚士による指導

ことばの遅れやコミュニケーション、耳の聞こえや発音などの心配ごとに対し、お子さん一人ひとりに合わせたサポートをしていきます。

月1回、40分：希望制

(1) くじらクラス

☆くじら1組：月・水曜日 ☆くじら2組：火・水曜日
各日 ①13：00～ ②15：30～

(2) ペんぎんクラス

木・金曜日 ①12：20～ ②13：40～

4 専門職による指導（囑託）

お子さん一人ひとりに、専門的立場から見解や指導をしていただきます。
日々の生活や指導に活かしていくため、お子さんに合った接し方や支援の方法を職員同様、保護者の方も一緒に学んでいきましょう。指導実施日、時間、対象児等の詳細については、事前にお知らせします。

作業療法士 遊び・活動の中での感覚・運動、目と手の協調、知覚・認知、機能面等の指導をします。

理学療法士 寝返る・起き上がる・座る・立ち上がる・歩くなどの日常生活を行う上で、基本となる動作の改善を目指します。

公認心理師 発達検査や発達全般についての相談や助言をします。

音楽療法士 音楽の持つ楽しさや心地よさの力を借りて発達を促していきます。

小児科医 中枢神経（脳・脊髄）、筋肉及び末梢神経等、発達と関わる症状について相談や診察をします。

5 家庭訪問 入園後1回、家庭でのお子さんの様子や環境を見せていただき、今後の支援に活かします。訪問実施への御協力をお願いします。

6 他機関との連携 医療機関・市健康推進課（保健センター）・市教育委員会・幼稚園・保育園・こども園・小学校・特別支援学校等と連携し、地域ぐるみでの療育と支援体制の充実を目指していきます。

7 指定協力医療機関 湯山整形外科（湯山琢夫医師）

※ 連携医療機関（参考）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ・国際医療福祉大学付属成田病院 | ・独立行政法人国立病院機構下志津病院 |
| ・東邦大学医療センター佐倉病院 | ・千葉リハビリテーションセンター |
| ・千葉こども病院 | ・旭中央病院 |
| ・成田赤十字病院 等 | |

8 退園の手続き 諸事情により、退園せざるを得なくなった場合は「富里市簡易マザーズホーム利用契約解除申出書」を御提出ください。

日 課 表 くじらクラス（4～5歳児）

活動日 くじら1組 月・水曜日

くじら2組 火・水曜日

時間	活動	目的
13:00～	【言語指導：1名】 【個別支援：1名】	
13:10～	登園	身体の動きを止めて、挨拶をしましょう。
	写真貼り	ホワイトボードに写真を貼り、登園したことがわかるようにしましょう。
13:40～	はじまりの会 手遊び 挨拶 呼名 当番紹介	しっかり座ることを身につけましょう。 職員の真似をしながら楽しく手を動かしましょう。 手をあげて返事をしましょう。 皆の前に出て職員から紹介してもらい役割を意識しましょう。 当番が回ってくることを楽しみに待ちましょう。
	片付け 排泄	ひとりで後始末ができるようにしましょう。 トイレでの排泄を目指しましょう。
13:50～	【個別支援：1名】 運動	全身運動で基礎体力をつけ、身体機能を高めましょう。
14:10～	着脱	自分で着替えができるようになることを目指しましょう。
	乾布摩擦	軍手を渡す、受け取る（「ちょうだい」「どうぞ」）等、やりとりの経験をしましょう。 身体部位の名称の確認や肌を刺激しましょう。
14:30～	課題	指導計画に基づき、様々な活動をします。
15:10～	おやつ	よく噛んで楽しく食べましょう。 フォーク・スプーン・箸等を使って食べましょう。
	お片付け	
15:30～	【言語指導：1名】 帰りの会 振り返り	お友だちの話をよく聞きましょう。 楽しかったことや頑張ったことを伝えましょう。（お子さん）
	帰りの挨拶 （さよならあんころもち）	お子さんが頑張ったこと、できたことを発表しましょう。（保護者） 動きを止めて、挨拶をしましょう。
15:40	降園 靴を履く 挨拶 握手	足元をよく見て手を使って、靴を履きましょう。 身体の動きを止めて、挨拶をしましょう。 手をしっかり握りましょう。

日 課 表 ペんぎんクラス（0～5歳児） 活動日 木・金曜日

時間	活動	目的
9:20～	【個別支援：2名】	
10:00～	登園 シール貼り 自由遊び	身体の動きを止めて、挨拶をしましょう。 ケースの蓋の開閉、シールを貼る経験を通して“よく動く手”、“よく見る目”にしましょう。
10:20～	朝の会 おはようのうた 朝のあいさつ どこでしょう 呼名、握手 当番紹介 お片付け・排泄	しっかり座ることを身につけましょう。 職員の真似をしながら、楽しく手遊びや歌遊びをしましょう。 呼ばれた方に気持ちを向けましょう。 タンバリンを叩いたり、手をあげたり、握手をしましょう。 皆の前に出て職員から紹介してもらい役割を意識しましょう。 当番が回ってくることを楽しみに待ちましょう。 トイレでの排泄を目指しましょう。
10:30～	着脱 ふれあい遊び	ひとりで着替えられることを目指しましょう。 軍手を渡す・受取る（「ちょうだい」「どうぞ」「ありがとう」）等のやりとりの経験をしましょう。また、身体部位の確認や保護者とのスキンシップを楽しみましょう。
10:55～	課題	指導計画に基づき、様々な活動をします。 頑張って課題に取り組んだ後は、お子さんのペースに合わせて楽しく遊びましょう。
11:40～	食事準備 手遊び（あたまかたひざぼん） お弁当の歌 食事 お片付け・歯磨き	人に注目し、楽しんで真似をしましょう。 よく噛んで、フォーク・スプーン・箸等を使って楽しく食べましょう。 マナーを身につけましょう。 歯磨きやブクブクうがいをしてみましょう。
12:20～	【言語指導：1名】	
12:40～	写真カードによる出欠確認 リトミック	写真と“同じ”の理解や友だちを意識しましょう。 楽しくゆったり身体を動かしましょう。 音楽に合わせて動きを変えたり、人に注目し真似をしましょう。
13:10～	ママとバイバイ（分離）	職員や友だちと遊び、対人関係を広げましょう。（お子さん） 休憩や情報交換の場としてご利用してください。（保護者）
13:40～	【言語指導：1名】 帰りの会 絵本、紙芝居等 歌、楽器遊び（今月の歌） 振り返り 体操 帰りの挨拶	集中して見たり聞いたりしましょう。 楽器を渡す・受け取る（「ちょうだい」「どうぞ」「ありがとう」）等のやりとりの経験をしましょう。 楽しかったことや頑張ったことを伝えましょう。（お子さん） お子さんが頑張ったこと、できたことを発表しましょう。（保護者） 親子で楽しく身体を動かしましょう。 動きを止めて、挨拶をしましょう。
14:10	降園 靴を履く 挨拶・握手	足元をよく見て手を使って、靴を履いてみましょう。 身体の動きを止めて、挨拶をしましょう。手をしっかり握ってみましょう。

共通理解の大切さ

- 職員の担当制 お子さん一人ひとりをより細かく把握するため、職員の担当制を取っています。全職員がお子さんの様子を共通理解した上で、グループ療育中、担当以外の職員も関わります。
- 面 接 原則として入園時に1回、その後6か月ごとに1回実施します。職員と保護者がお子さんの変化及び成長並びに発達の確認を行い、今後の目標をたてます。

お 願 い

- * 活動中は、おしゃべりを控えてお子さんと一緒に遊びましょう。
- * お子さんから目を離さないようにしましょう。お手洗い等で、お子さんから離れる際は、近くの職員にお声かけください。
- * 携帯電話の着信音等によって子ども達の集中力が途切れてしまうことがあります。活動中、電源は切りましょう。
- * 分離の時間は、必ず館内でお過ごしください。
- * 欠席される場合は、すまいる（0476-92-2302）へご連絡ください。

子ども達は、生活や遊びを通して様々な経験を重ね、知識を広め技能を獲得しながら成長していきます。

また、集団の中で友だちと一緒に遊び、お互いに刺激し合いながら育ち、社会性等を身につけていきます。

お子さん一人ひとりを理解し、御家族とともにお子さん自身が持っている力を発揮できるよう、お手伝いさせていただきたいと考えています。

保育所等訪問支援事業

保育所等訪問支援専門員がお子さんの通っている園を訪問し、集団適応するための支援を行います。

1 直接支援

利用園にて、保育所等訪問支援専門員が直接お子さんに関わり支援します。

2 間接支援

保育所等訪問支援専門員がお子さんの利用園の職員と支援方法等について相談や提案をします。

☆ 対象児

保育園・幼稚園・こども園等に通う発達気になる0～5歳児のお子さん。

☆ 訪問日及び時間

月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

お子さんの状態に合わせ、保護者や利用園と相談の上、訪問等の日時を決定します。

☆ 利用料

- ・0～2歳児のお子さんの利用については、障害児通所給付費の1割をご負担いただきます。
- ・3歳児以上のお子さんは、幼児教育無償化の対象のため0円です。

簡易マザーズホーム すまいる

〒286-0221 富里市七栄653-2

電話 0476-92-2302

FAX 0476-92-2303

E-mail mothershome@city.tomisato.lg.jp

